

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 2 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204359		
法人名	有限会社 誠友		
事業所名	グループホーム「こもれびの家」		
所在地	広島市西区山手町10-6 (電話) 082-532-1266		
自己評価作成日	平成28年1月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470204359-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年2月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが、生き生きと生活できるよう支援しています。庭の畑に春は花、夏は野菜、秋は収穫、冬は食する。四季を通して、皆で笑ったり、食べたり、一緒に生活しているという実感、日々、味わって頂けるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

昨年4月に大宮から移転した「こもれびの家」は、母体は(有)誠友「日興ホーム」で、このグループホームの名前の由来は、暖かい太陽の日差しがこもれるに繋がって名付けられた。移転時には、このホームの部長が従来の利用者が不穏にならない様にと、移転後落ち着いてから新たな利用者の入所募集を始める等、利用者本位のサービスに努めている。部長のもう1つの役割として母体と現場(グループホーム)の橋渡し役も担っている。現場を束ねるホーム長は、介護の様々な現場を経験し福祉の在り方を学んだ頼りになるベテランで、優しさが伝わるホーム長である。太田川の川土手に沿って山の手を開けた住宅地で、ここに努める職員も穏やかで、日々のケアはホーム長の下、研修や実践を通して、サービスの質の向上を目指し努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「原点はおお客様」皆様の可能性を引き出し、たくさん笑顔がいただけるよう支援いたします。スタッフ全員で考え、実践している理念です。	理念は母体企業と共有の「原点はおお客様」を基に、こもれびの家の方針として「利用者の可能性を引き出し、沢山の笑顔がいただける支援を行う」を、月1回のミーティングや申し送りノートの表紙に書いて、職員は共有している。今後は更に内容を咀嚼しサービスの質の向上を目指し努力していくこととしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	夏は盆踊り大会、秋は亥の子と出向いていたり、来て頂いたり4月に移転して以降、できることから参加している。また犬の散歩や子供たちが通りかかると声を掛けて下さったり、畑をみてご指導頂いたりして交流を図っている。	夏祭り等に、町内会長から誘われ見学に出掛け、その際にはビールを頂いたりして地域に溶け込んでいる。またこもれびの家の利用者が、窓越しに幼稚園児や小学生に手を振ったり、近隣住民の飼い犬を見せてもらい、会話を通して住民がグループホームを訪ねて来る等、日常的に楽しく交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	まだ、地域に貢献できていないが、努力していきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会の方、民生委員、地域包括視線センターの方より頂いた意見や指摘をホームのサービス向上に活かしていくよう努力している。	運営推進会議は2か月に1度開催されており、民生委員、町内会長や地域包括支援センター、グループホームの部長、ホーム長等が参加し、会議は行事の実施状況、苦情や事故の状況等が話し合われ、評価している。又ボランティアの受け入れを提案し、検討する等、会議を通して地域に繋がりを作る為、努力されている。	会議の出席者は、利用者又は利用者の家族がなく、理由は開催曜日や時間帯が合わず出席出来ないことにある。今後は家族が出席出来る様、行事に合わせて日程を工夫する等して、参加し易くする工夫に向けて努力される事に期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	以前、生活課の方と社会福祉協議会の方とご家族と連絡の取れない方についての担当者会議を持ったことがある。	昨年4月、現在の場所に移転したばかりで、市町との関係づくりに取り組むための準備中である。今後は認知症アドバイザーの資格を持つホーム長のキャリアを活かして、市町と共に活動出来るための協力関係を築くよう期待する。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員間の研修で、身体拘束についての研修を行い、正しく理解するよう取り組んでいる。</p>	<p>門の施錠はしていないが、地理的状況の中、グループホームの裏にはJR、表は土手の上側に車が行き来している為、家族からの要望で、玄関はドアホンで解除する仕組みにしている。職員は日々の支援の中で、どれが良いケアかを模索しながら取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員間の研修にて虐待防止について勉強をし、理解と防止を徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員間の研修にて学んでいる。1Fの方で「かけはし」を利用している方がいるので理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前、入居時に説明している。また、理解できないような部分は個別に対応し、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置している。意見を頂くと早急に可能な限り反映している。2Fのご家族様よりご要望があり対応（スタッフの顔と名前を提示）した。</p>	<p>意見箱は設置しているが、意見や要望が有れば、家族は訪問時に直接職員や管理者に伝えている。また月に1度メール、電話、ライン等で連絡し、その時点で要望が有れば伺い、更に3か月に1度ホームの「こもれび通信」で連絡を取りながら、家族の意見が反映出来る、取り組みがされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティングに本社も参加し、スタッフの意見や入居者様の情報を直接聞き、意見や提案事項に対し、きちんと対応している。	本社代表、管理者、職員が月1回の会議で話し合いを行っている。職員は日々のケアの中で、例えばシャワーチェアの変更（フラットからドーナツ型へ）、酸素機器の購入を提案し、本社は前向きに検討している。又職員の意見により、給料支給日の変更を行うなど職場環境の整備にも努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の意見を出しやすい環境作りに努めている。スタッフ、それぞれの働ける条件を可能化し、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	今年度は、移転やスタッフの増員などホーム内の変化が大きかった為、基盤作りの1年としている。社内研修は毎月行い、介護に対する意識や介護力を養っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	「誠友」の中にサービス付き高齢者向け住宅ができたので相互に勉強会を行う等して、サービスの質の向上を図っていきたいと考えている。又、外部の施設見学も考えている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前に、ご本人様とご家族様にお会いし、入所に関してご本人様が安心して生活して頂けるよう細かい部分まで聞き取りを行、・ホームに持ち帰り、全スタッフに申し送るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>安心して頂けるよう、また、安心して生活して頂けるよう、ご家族・利用者様とは入居前に面談を行い、しっかり、信頼関係を築けるよう努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>一番心配されているところを、引き出し、心配を安心に変えられるようプランに取り入れている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様同志、また、スタッフ共に笑い合い支え合って、日々を送っているという実感を味わって頂けるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>小さな出来事でも報告し、ご家族と同じ話題を共有し、一緒に笑ったり考えたりしてホームでの本人の生活を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご友人や知人など、自由に来所して頂き、これまで通りの関係が継続していただけよう支援している。</p>	<p>昨年の春、現在の場所に移転した為、利用者の個々の知人に職員が連絡を取り、不定期ではあるが来所頂いている。新たな関係づくりでは、近隣住民が散歩時に畑や花壇を通して、作り方を教えて貰ったり、苗を頂いたりして馴染みの関係づくりが築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い方同志を同じテーブルにして、食事をして頂くなど配慮し、同じフロア内で生活していく中で、お互いに認め合い、関わりを持つことで、必要とされているという実感をもてるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新しいホームとなつては、2名退所の方がおられたが、年末に各ご家族に連絡し、ご様子を伺った。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いを組み取り希望や意向に沿えるよう努めている。困難な場合は、本人の気持ちに添えるよう努力している。	利用者一人ひとりのアセスメントから、生活歴、現在の生活環境等を把握し、思いに添えるよう努めている。例えば自宅に帰りたいが困難な状況の場合、誕生日に自宅近くまでドライブしたり、夫婦で入居の利用者の場合、二人の関係に割り込み過ぎず、見守りながら、チームで支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前に自宅、あるいは病院に伺って、本人やご家族、担当のケアマネジャー・ヘルパーと、これまでのご本人様の様子をこまかく聞き取りし、生活環境を把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの一日の流れを把握し、自分でできる事はしてもらい、自分らしく暮らせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	各担当者によるモニタリングとアセスメント作成に基づいて ケアプランを作成している。	担当者は介護計画書を作成する際に、リーダーやホーム長と話し合いを行い課題を検討し、作成している。不穩に為りがちな利用者には、日々変化が生じる事があるため、観察、見守りを行い、現状に即した計画を立て、より良いケアに繋げている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の様子やケアの実践を個別に記録している。また、担当を2人体制にして、モニタリング等、意見交換をしながら実践に活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	可能な限り柔軟に対応できるよう努力している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	近所にコンビニがあり歩いて買い物に行くなど支援を行っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	2週間に1回。往診以外でも訪問看護も入っている。また、緊急時には、受診できる体制をとっている。	主なかかりつけ医は、現在の場所に移転する前から内科及び外科診療の長尾医院で、2週間に1回往診を受け、又24時間体制で対応もしている。協力歯科医も毎週1回往診を受け、その他必要に応じて眼科、リハビリ、肛門科等、複数の協力医療機関とも連携し、適切に医療が受けられるよう支援されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>1回/週、入居者様の健康管理のため、FAXにて身体状況を報告又、訪問看護師による個別の看護も受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>昨年夏に入院された方については、ご家族の協力が得られなかったので、病院と常に情報交換を密にして、安心して治療して頂けるよう努力した。今後も同様に連携をとって行く予定である。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期のケアに関しては、家族の意向を指針として交わしているが、その都度、医師やご家族、ご本人様と話し合いをしながら決めている。</p>	<p>現在は、ホームとしては経験はないが、終末期に向けた支援方法は、利用時に家族等と話し合っている。又終末期に向けて家族、医師、管理者は話し合う機会を設け、意見交換を行っており、ホーム長は終末期ケアの経験も有り、職員に対して研修を行いながら、チームケアに取り組む姿勢が伺える。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応として、常々スタッフ全員に研修をしている。予測の力をつけるため、個々の既応歴から発症の可能性のある病気についての諸症状について研修を行っている。連絡方法等、周知している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>地域の民生委員の協力の下、火災訓練と避難誘導の訓練を年2回、行っている。5/29新人スタッフの消火訓練、10/27夜間想定避難訓練を実施した。近所の方へ訓練ご協力への声かけをするも平日ということもあり、協力得られなかった。</p>	<p>年2回の避難訓練は、民生委員の協力を得ながら行われている。移転して間もない為、地域住民の協力は難しいが、参加可能な方法を検討し更にはハザードマップ等を確認しながら、今後に繋がる取り組みに期待する。ホームには、備蓄3日分を確保して有り、災害対策に対して努力している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の思いや性格を日頃から理解し、ひとりの人間として対応している。	全職員は、日頃から利用者一人ひとりの人格を尊重し、その人らしい暮らしを支援している。例えばプライバシーの配慮では、入浴中、他の利用者が入らない様気配りを怠らず、夜間トイレの使用時は、利用者が重ならないよう、他のトイレに誘導しながら行い、個人情報のファイル等は、事務所の書庫に入れ管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	その場面、場面で意志決定していただけるよう気持ちを伺いながら、日々の生活を送って頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	調子の良いとき・悪いときなど体調に合わせて無理強いせずに1日を過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣室には、ご本人様の希望を伺いながら、その日着たい服を、また、髪のカットやカラー等、訪問美容の方の都合のつく範囲で、本人の希望を支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	味付けなど、昔、台所に立っていた頃を思い出しながら、うかがい調理している。また下ごしらえや片付けなど、可能なことは一緒に行っている。	メニューは1か月単位で作成されており、毎日作るのは職員が行うが、個々のニーズに合わせて、一部食事内容を変更する必要がある。食事の楽しみの一つに利用者と共に畑で収穫した野菜を食べたり、先日は2ユニットで恵方巻3種類を皆で作し、楽しい食事を共にした。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食の量で男性と女性とで若干、変化をつけたり、夜間の水分摂取もこまめに促し、摂ってもらっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアはもちろんであるが、調子が悪くうまくブラッシングできない方でも、うがいだけでもして頂けるよう、うがい液を利用するなどして行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを理解し、トイレでの自立排泄を支援している。</p>	<p>現在の場所に当ホームを建築の際、一部トイレに男性用トイレを設置し、スムーズな排泄に繋げている。又職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、共有しながら支援している。職員は、入所時にオムツだった利用者が、毎日の支援の中でリハビリパンツに変更する等、日々の努力が感じられる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>2日に1回は、自力排便につながるよう、訪問看護と連携を取りながら、飲むヨーグルト等、強い下剤を使用せず、体操で体を動かさずなどして、便秘の予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>パーキンソン病により、日内変動のある方は特に、調子の良い時に入浴して頂けるように支援している。</p>	<p>ホームの基本的な入浴時間は週2回に設定しているが、利用者の希望により増やしたり減らしたりしながら、その日のその人の状態を見極め、無理のない支援を心掛けている。夫婦での利用者の場合、入浴を嫌がる夫に妻が職員と共に脱衣所まで付き添う等、微笑ましい関係を職員は暖かく見守り、支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼間は出来るだけ起きていて、夜間は安心して寝られるよう支援しているが、その時々で、体調の変化により、困難な時は、状況に応じて柔軟に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医や薬局と連携を密に取っている。薬についても、薬剤師と症状と薬の量との関係等の説明を変更の都度行い個々の体調管理の1つとして、大切な支援だと認識している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	編み物、歌、パズル等、個々のこれまでの生活の中で、大好きだったものを、ホームでの生活の中に取り入れ、これまでの生活と同様に楽しみごととして支援して行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	自身に使う化粧品や大好きなお菓子を購入するために、外出援助を行っている。ご家族様の協力が得られればして頂いている。地元のコンビニは良く活用している。	日常的には近くのコンビニへ買い物に出掛けたり、個別で服など買いに出掛けている。誕生日には希望を聞き、例えば好きな店の寿司を食べに出掛ける。季節には桜や紅葉を見にドライブを楽しみ、家族からの希望でデパートや縮景園に行ったり、又家族とリハビリの為の散歩をする等、多様な支援を心掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当ホームではお金を持つ大切さは理解しているが、本人のお金を預ったり、また、本人にお金をもたせる等、行っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人が希望すれば、いつでもご家族に電話するよう支援している。手紙も同様に行っている。携帯電話を持っておられる方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに、壁面を楽しく手作りのもので飾ったりして、季節感を感じてもらっている。</p>	<p>日常で一番長く過ごすリビングは、日当たり良く、2階は窓からの景色も良い。共有部分は屋上があり、先日飛行船を見つけ利用者と共に手を振ったりして楽しいひと時を過ごした。又庭では、花や畑で栽培をしたり、その隣でバーベキューを楽しんでいる。職員は敷地内の様々な共有部分を利用し、退屈しない暮らしの工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>好きな場所や気の合う方との座り方など日々の生活から把握し、居心地のよい空間作りに努力している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人のなじみのある家具やミシン等・食卓テーブル・冷蔵庫を持って来て本人らしい居心地のよい空間作りをしている。</p>	<p>其々の部屋の入り口には、手書きで書いたネームプレートがある。ある利用者はフルネームで書き、他の利用者は下の名前だけ、漢字やひらがな等、個性的でその人らしい。これは、自分で名前を書く部屋を間違えにくいと、スタッフの提案で行われた。室内も其々が個性的でその人らしさが感じられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>階段とエレベーターを個々に使い分けておられる。いずれにしても、必ず見守りをつけて移動を支援している。自室はひとり一人が認識できている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム「こもれびの家」

作成日 平成28年4月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に利用者又は、利用者の家族の参加がない。参加しやすいよう、時間の変更、又は、行事と実施する等工夫する。	運営推進会議に、利用者と利用者家族の参加。	3月の運営推進会議にて、新年度の会議日時を第4木曜日10時30分に変更。今までは、夕方18時からだったので、夕食時間とかぶっていた。変更にとめない利用者の参加は可能になる。地域の方・包括の方も午前中を希望されたので、この体制で行う。また、ご家族の参加に関しては、行事と一緒に会議を行い、年1から2回参加して頂けるよう取り組んでいく。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。